

## 天理日仏文化協会こども日本語講座の取り組み⑦

## 4) 子供への日本語教育法を考える（前号よりの続き）

## 漢字の読み書きへの挑戦

前述のように、子供クラス国語科では、まず指導の基本を教科書の音読におくことにした。家庭でも、保護者に毎週の宿題である教科書の音読を、子供たちの分からない漢字や言葉の説明をしながら聞いて、感想を音読カードに記入してもらうことにした。さらに、授業中の音読方法も教師間で申し合わせ、教科書を正確に読み、書かれている内容を理解するための方法を考えた。なお、難解語句の指導のために、国語辞典で調べさせたり書かせたりするのは、日本語の理解能力に差がある子供たちには、時間がかかり過ぎるなど無理がある。そこで、教師が模範読みをする際に、口頭で平易な言葉に置き換えて説明することにした。

また、漢字の苦手な子には、新出漢字に鉛筆でふりがなを付けさせてもよいことにした。何度も音読をしているうちに、漢字にも慣れて、ふりがなを消しても読めるようになるのが目標である。

しかし、音読練習で漢字が読めるようになって、漢字を正確に書いて意味を理解しなければ、語彙が子供たちに定着したとはいえない。特に、日本語には、同じ音の「はな」でも、「花」と「鼻」のように同音異義語が多い。そのために、理解できる語彙の少ないフランス育ちの子供たちは、とんでもない勘違いをしてしまうのである。それが、教師の話聞き取ることや、教科書の内容を読み取ることの困難な原因でもある。これに似たことは、日本の低学年の子供たちにも見られるが、漢字の習得や理解できる語句が増えるに連れて誤解は少なくなっていく。

ただ、繰り返し漢字を練習させることは、ひらがなでさえ四苦八苦している子供たちには負担が大きく、日本語嫌いになってしまうかも知れないという懸念があった。しかも、年間34回の授業日数では、かなりのスピードで進めなければならないが、ともかく「継続は力なり」を願って、本格的な漢字練習にも挑戦させることにした。

これまでも漢字の習得については、クラスの実態に合わせた指導がなされてきたが、学年相応の漢字の読み書き能力を身につけるには、ほど遠いのが現状であった。そこで、より効果的な漢字指導を行うために、音読練習の指導と同じく、漢字学習教材の統一と指導方法も申し合わせることにした。

ちなみに、漢字練習の教材は、直接ドリルに書き込み、練習からテストまでできる『書き込み式漢字ドリル』（新学社）を日本から取り寄せ、全員に購入してもらうことにした。この漢字ドリルは、色刷りのキャラクターなどで子供の興味を引き、覚え方からテストまで、マニュアル化された指導ができる点が優れている。

ところが、発注に当たり、すでに日本の新学期が4月に始まっており、9月に始まる本校との時期のずれによって、在庫がなく希望する冊数が揃わない場合も考えられた。早速、年度末の6月に来期の生徒数を予測して、天理小学校に勤務していた頃から付き合いのあった教材会社にメールで依頼したところ、何とか初年度分を調達するめどがたった。輸送方法も、なるべく経費を抑え

るために、夏休みで一時帰国したスタッフの荷物に便乗させてもらったり 船便やSAL便などを利用することにした。

このような経緯から、初回の教師勉強会において、教科書の音読指導に加えて、漢字の習得のためのドリルを導入することも提案した。また、簡単な模擬授業を行いながら、90分間の授業配分を示した基本的な授業案による具体的な指導法の説明をした。これによって、子供クラスの指導が計画的に積み重ねられるばかりでなく、授業の準備時間を軽減して、教師たちには、少しでも余裕を持って子供たちに接してもらいたいと思ったのである。以下にその確認事項を抜粋する。

## 天理こども日本語講座 指導確認事項

指導方針（子供達が約束を守り、日本語に親しみ自ら学ぶ姿勢を育てる。）

- ・ 学年の発達段階をふまえ、ほめて励まし学習意欲を高める指導を目指す。
- ・ 国語の教科書を正確に読み、内容を理解できるようにする。
- ・ ひらがなドリルカタカナ、漢字ドリル、音読カード、形成プリントで、文字を正確に書けるように指導する。
- ・ 宿題は、教科書の音読、漢字ドリル、形成プリントを基本とする。
- ・ 上記以外に、クラス独自の宿題や、テーマを決めた取り組みは、無理のないように計画する。
- ・ 宿題や作品の点検と評価を記録し、学期ごとに、成績表を渡し、学年末には修了証を記入して渡す。

## 「授業計画例（小学校国語課程）90分」

## (1) 授業の前に

宿題提出、挨拶、出席確認、にこにこ新聞、先生のお話などをする。（5分）

## (2) 漢字練習（文字 言語）

・ 前時の復習（15分）

- ① 教師の後に続いて声に出して読む。
- ② 書き取りテストをする。（できた順に教師に見せに来させ、間違いは赤ペンで直し書き直させる。）

・ 新出漢字の練習（15分）

- ① 教師の後に続いて声に出して読む。
  - ② 机の上に人さし指で書き順を言いながらなぞり書き。（3回）
  - ③ 目を閉じて上と同じく机になぞり書き。（3回）
  - ④ ドリルに書き込む。
- ※ ドリルの残りノート練習を宿題とし、次回書き取りテストをすることを予告する。

## (3) 音読と読解

・ 音読練習（20分）

- ① CDを聞く。または、模範読み。（教師が読む。）
- ② 声を合わせて一斉読みをする。
- ③ 区切りながら、一人一人が読む。（音読カードにシールを貼る。）

・ 内容を理解する（読解）（30分）

- ① 音読をして内容が分かるようになったら場面ごとにあらすじをまとめる。
- ② 基本的な内容の理解を、形成プリントに書き込みながら内容をつかむ。
- ③ 単元の最後に、感想や主人公への手紙を書かせたりあらすじをまとめる。

## (4) 学習のまとめ（5分）

本時のまとめと次時の予告、連絡事項、帰りの挨拶

※ 授業の途中や最後に、ビデオや折り紙やお話の読み聞かせなどを入れて、楽しみながら学べる工夫をしたい。